



トイレットペーパーやティッシュが水に溶けるか実験を行う児童たち

11月26日 真壁小児童が下水道の仕組み学ぼう「下水道出前講座」

真壁小学校で4年生を対象に、茨城県流域下水道事務所と桜川市が、下水道の仕組みを分かり易く教える下水道出前講座を行いました。

この講座は、下水道事業への理解を深める目的で、市内小学校4年生を対象に各小学校で実施しています。

当日は、同校4年生61人が受講。下水道の役割や仕組みについて、クイズや実験を交えて楽しく学びました。

受講後、学んだことを家族や友達に話して欲しいと、同下水道事務所が受講した児童たちを下水道博士に任命しました。



悪天候の中、激戦が繰り広げられた桜川市近隣中学校野球大会

11月23日 桜川市近隣中学校野球大会で、野球少年たちが交流

岩瀬桜川運動公園野球場をメイン会場に桜川市近隣中学校野球大会が開催され、市内をはじめ近隣の市町から総勢22校が参加しました。

この大会は、(株)スミハツ（台山高森工業団地内）が、地域貢献活動の一環として毎年実施しているもので、今回が通算22回目。中学生同士の交流と野球技術の向上を目的に開催されています。

大会は、トーナメント方式7回戦で進められ、計5回の激戦を勝ち抜いた筑西市立下館中学校野球部が見事優勝を果たしました。



人権作文コンテスト茨城県大会で入賞した上野真人さん（写真右）と古橋日奈稀さん（写真左）

12月5日 人権作文コンテスト茨城県大会で、上野さんと古橋さんが入賞

第35回全国中学生人権作文コンテスト茨城県大会で、岩瀬西中学校2年生の上野真人さんが最優秀賞、桃山中学校3年生の古橋日奈稀さんがNHK水戸放送局長賞を受賞しました。

このコンテストは、人権尊重の重要性や必要性についての理解を深めてもらうと水戸地方事務局などが開催したものです。

上野さんと古橋さんは、それぞれ「みんな友達」、「一人一人が輝ける社会を」を題名に、日常の家庭生活や学校生活の中で得た体験に基づく作文を作成。約1万9千の応募の中から、受賞に選ばれました。



関東地区空手道選手権大会で好成績を収めた大和道場の皆さん

11月22日 「大和道場」の選手が 関東空手道選手権大会で大活躍

大和道場（高久地区）の選手たちが、神奈川県で開催された第40回関東地区空手道選手権大会に出場しました。

結果は、団体一般男子形で、飯島龍太さんと豊口貴悠さんが優勝。小学5年男子組手で、小林圭さんが準優勝。小学6年男子形で、岩瀬凌さんが優勝、弓削諒兵さんが準優勝。中学2年生男子組手で、佐藤宏揮さんが3位。中学3年生男子組手で、小林亮さんが敢闘賞。高校生男子形で、柏湧斗さんが優勝、岩瀬拓未さんが準優勝。海老沢昂大さんが敢闘賞。

練習成果を発揮し、好成績を収めました。

まちの話題

茨城国体を目指して ビームライフル射撃体験 12月12日

真壁体育館で小・中学生を対象に、ビームライフル射撃体験が開催されました。ビームライフル射撃は平成31年度茨城国体の正式競技で、資格がなくても撃てる光線銃です。

この体験は、茨城県ライフル射撃協会や桜川スマイルクラブなどが主催で実施。茨城国体に向けて、選手の発掘・育成と地元の子ども達へのPRが目的です。

当日は、市内外から約30人が参加。子どもたちは、長さ1.2m、重さ約5kgのビームライフル銃を手に、集中して的確を狙いました。



茨城国体の正式競技「ビームライフル射撃」を体験する参加者たち

桃山中で市消防団が 防災知識を講演 11月28日

桃山中学校で、同校の生徒と保護者計400人を対象に、桜川市消防団桃山中学校親子講演会が開催されました。

これは、防災知識を学び災害の発生に備えようと同校PTAが、市消防団へ講師を依頼して実現したものです。

当日は、市消防団員が講師として、消防団活動や防災について講演。さらに、救急救命法の実演や参加者体験を交えながら、防災知識を教えました。

その後、県西地区大会で優勝した消防ポンプ操法を披露。参加者たちは、間近で見る迫力ある操法に見入っていました。



消防ポンプの放水を体験する桃山中学校生徒たち

まちの話題

健康祈願し、7合のご飯を 食べ合う「大飯祭り」 12月13日

下泉地区の集会所で「大飯祭り」が開催されました。

約500年続くこの伝統行事は、地元の鹿島神社の氏子たちが集まり、作物の実りへの感謝と人々の健康を祈願するものです。

当日は約30人が参加。お椀に高く盛られた7合のご飯「もっそう」を食べ合い、途中で「今浜さま」と呼ばれる神様が、もつと食べる」とご飯を進めて回りました。

同地区の仁平俊夫区長は、「500年続いている由緒ある祭りを楽しく継承できるように、皆で協力していきたい」と話していました。



高く盛られた7合のご飯をもつと食べる氏子たちに進めて回る「今浜さま」

須津賀地区の青年交流で 毎月ごみ拾い 12月26日

真壁町源法寺の須津賀地区で、3年前から同地区の青年有志が毎月ごみ拾いを行い、交流を深めています。

これは、同地区の自衛消防団が解散され、青年の交流が少なくなったことをきっかけに、稲生正之さん（真壁町源法寺地区）が発起人となって、青年の交流を増やそうと始まったものです。

「自分たちが住んでいるところは、自分たちで守ろう」との思いで、リサイクルの日である第4日曜日に、地区内のごみ拾いを毎月実施。多い時では20人以上が参加し、地区内を綺麗にしています。



須津賀地区で毎月ごみ拾いを行っている皆さん